



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 OBARA GROUP株式会社
コード番号 6877 URL <http://www.obara-g.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 小原 康嗣
(氏名) 飯高 成美

TEL 046-271-2124

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	39,731	△3.4	8,022	△8.5	7,818	△15.0	5,428	△8.6
27年9月期第3四半期	41,127	12.2	8,763	20.1	9,196	21.3	5,936	21.5

(注)包括利益 28年9月期第3四半期 118百万円 (△98.7%) 27年9月期第3四半期 9,143百万円 (50.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	293.94	281.86
27年9月期第3四半期	310.34	306.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	55,694	33,496	60.0
27年9月期	67,722	42,342	58.5

(参考)自己資本 28年9月期第3四半期 33,418百万円 27年9月期 39,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	30.00	—	70.00	100.00
28年9月期	—	30.00	—		
28年9月期(予想)				30.00	60.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年9月期期末配当金の内訳 普通配当60円 記念配当10円

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	△4.1	9,300	△14.4	9,650	△15.4	5,670	△25.3	307.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期3Q	20,869,380 株	27年9月期	20,869,380 株
28年9月期3Q	2,578,421 株	27年9月期	2,277,140 株
28年9月期3Q	18,467,766 株	27年9月期3Q	19,129,167 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手した情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10
(2) 地域別販売状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年10月1日～平成28年6月30日)における世界経済は、米国において景気回復の動きが持続したものの、アジア地域を始めとする新興国の経済成長の鈍化や欧州地域の不透明な景況感の継続などから、全体として低成長で推移しました。

我が国経済につきましては、個人消費に足踏みが見られるものの、設備投資は持ち直しの動きを示すなど、緩やかな景気回復が続きました。

このような状況の下、当社グループと深く関わる自動車業界につきましては、中国を中心としたアジア地域と米州地域などで、新モデル投入などによる設備投資が行われるとともに、生産活動についても堅調な動きが見られました。一方、同じく当社グループと深く関わるエレクトロニクス業界では、新興国経済の成長鈍化などを背景として設備投資及び生産活動に市況調整が見られました。

当社グループは、このような経営環境に対応するため、各市場動向に応じ、設備品及び消耗品の拡販に努め、ローカルニーズに対応した製品投入を進めるとともに、技術革新・次世代装置などの高付加価値製品の開発にも注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高397億31百万円(前年同期比3.4%減)、営業利益80億22百万円(前年同期比8.5%減)、経常利益78億18百万円(前年同期比15.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は54億28百万円(前年同期比8.6%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①溶接機器関連事業

溶接機器関連事業につきましては、取引先である日系・欧米系・アジア系自動車メーカーにおいて、中国を中心としたアジア地域や米州地域などで堅調な設備投資が行われ、世界各地の自動車生産は概ね高水準となりました。このような環境の下、当部門として設備品及び消耗品の拡販を図ったものの、円高推移の影響を受けて、業績は前年同期を下回りました。

この結果、部門売上高は278億77百万円(前年同期比1.9%減)、部門営業利益は61億75百万円(前年同期比3.2%減)となりました。

②平面研磨装置関連事業

平面研磨装置関連事業につきましては、スマートフォンなど主要エレクトロニクス製品の販売軟調などを受け、取引先であるエレクトロニクス関連素材においても、設備投資及び生産活動に調整の動きが見られました。このような環境の下、円高推移の影響もあり、当部門として設備品及び消耗品の拡販を図ったものの、業績は前年同期を下回りました。

この結果、部門売上高は118億61百万円(前年同期比6.7%減)、部門営業利益は19億24百万円(前年同期比26.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は556億94百万円と、前連結会計年度末に比べて120億28百万円減少しました。その他有形固定資産が10億31百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が7億4百万円、有価証券が82億43百万円、棚卸資産が39億62百万円減少したことなどによります。

負債は221億97百万円と、前連結会計年度末に比べて31億82百万円減少しました。支払手形及び買掛金が2億32百万円、短期借入金が7億39百万円増加した一方、前受金が35億59百万円、賞与引当金が4億42百万円減少したことなどによります。

純資産は334億96百万円と、前連結会計年度末に比べて88億45百万円減少しました。利益剰余金が28億83百万円増加した一方、子会社株式追加取得等により資本剰余金及び非支配株主持分がそれぞれ23億73百万円及び26億37百万円、自己株式の取得により11億99百万円、円高により為替換算調整勘定が54億2百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の連結業績予想につきましては、現時点において概ね計画通りに推移しており、平成27年11月9日に発表しました業績予想に変更はありません。

なお、為替レートは、1米ドル=112円を前提としております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、当第3四半期連結会計期間
末の資本剰余金が2,373百万円、利益剰余金が691百万円減少しております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実
務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1
日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,205	17,646
受取手形及び売掛金	16,439	15,735
有価証券	8,363	119
商品及び製品	6,904	3,791
仕掛品	2,430	2,186
原材料及び貯蔵品	3,281	2,677
その他	1,996	1,677
貸倒引当金	△580	△779
流動資産合計	56,041	43,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,259	2,912
土地	3,146	3,218
その他(純額)	2,253	3,285
有形固定資産合計	8,659	9,417
無形固定資産		
のれん	221	620
その他	627	538
無形固定資産合計	848	1,158
投資その他の資産		
投資有価証券	1,603	1,439
その他	652	688
貸倒引当金	△83	△62
投資その他の資産合計	2,172	2,064
固定資産合計	11,680	12,640
資産合計	67,722	55,694

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,841	4,074
短期借入金	756	1,495
1年内返済予定の長期借入金	16	13
未払法人税等	1,076	835
前受金	6,568	3,008
賞与引当金	1,149	707
その他	1,253	1,284
流動負債合計	14,661	11,419
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	7,063	7,052
長期借入金	137	109
繰延税金負債	3,035	3,175
役員退職慰労引当金	43	51
退職給付に係る負債	251	229
その他	186	157
固定負債合計	10,718	10,777
負債合計	25,380	22,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925	1,925
資本剰余金	2,373	—
利益剰余金	37,397	40,281
自己株式	△6,584	△7,784
株主資本合計	35,113	34,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	373	258
為替換算調整勘定	4,139	△1,263
その他の包括利益累計額合計	4,513	△1,004
非支配株主持分	2,715	77
純資産合計	42,342	33,496
負債純資産合計	67,722	55,694

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	41,127	39,731
売上原価	26,149	25,732
売上総利益	14,977	13,998
販売費及び一般管理費	6,214	5,976
営業利益	8,763	8,022
営業外収益		
受取利息	213	253
受取配当金	17	19
為替差益	213	—
その他	109	141
営業外収益合計	553	415
営業外費用		
支払利息	35	28
為替差損	—	517
その他	85	72
営業外費用合計	120	619
経常利益	9,196	7,818
特別損失		
固定資産除却損	—	95
特別損失合計	—	95
税金等調整前四半期純利益	9,196	7,722
法人税、住民税及び事業税	2,309	1,968
法人税等調整額	395	177
法人税等合計	2,704	2,146
四半期純利益	6,491	5,576
非支配株主に帰属する四半期純利益	554	148
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,936	5,428

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	6,491	5,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	126	△115
為替換算調整勘定	2,525	△5,343
その他の包括利益合計	2,652	△5,458
四半期包括利益	9,143	118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,459	△89
非支配株主に係る四半期包括利益	684	207

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年12月29日付で、連結子会社OBARA KOREA CORP.の株式を追加取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が2,373百万円、利益剰余金が691百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が一百万円、利益剰余金が40,281百万円となっております。

また、当社は、平成28年1月25日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議しました。これを受け、市場買付けにより、平成28年1月26日から平成28年4月11日までに普通株式301,200株、1,199百万円の取得を行いました。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、平成28年4月11日をもって終了しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,418	12,708	41,127	—	41,127
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	8	10	△10	—
計	28,420	12,717	41,138	△10	41,127
セグメント利益	6,380	2,600	8,980	△217	8,763

(注) 1 セグメント利益の調整額△217百万円には、セグメント間取引消去△10百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△206百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,877	11,854	39,731	—	39,731
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	6	6	△6	—
計	27,877	11,861	39,738	△6	39,731
セグメント利益	6,175	1,924	8,099	△77	8,022

(注) 1 セグメント利益の調整額△77百万円には、セグメント間取引消去△6百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△70百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメント利益又は損失の測定方法)

第1四半期連結会計期間より、各セグメントの業績をより適切に評価するため、全社費用のうち共通費の配賦方法を変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の「溶接機器関連事業」のセグメント利益が166百万円減少しております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	21,628	△3.7
平面研磨装置関連事業	4,029	△58.9
合計	25,658	△20.5

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 金額は、販売価格で表示しております。
3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	28,308	△3.5	6,598	△2.7
平面研磨装置関連事業	6,499	△40.8	4,616	△57.8
合計	34,807	△13.7	11,215	△36.7

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	27,877	△1.9
平面研磨装置関連事業	11,854	△6.7
合計	39,731	△3.4

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 地域別販売状況

(単位：百万円)

	日本	アジア パシフィック	米州	その他	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	9,418	26,027	3,163	1,122	39,731	—	39,731
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,346	975	143	9	3,476	△3,476	—
計	11,765	27,003	3,306	1,132	43,207	△3,476	39,731
セグメント利益	1,416	6,121	446	116	8,100	△78	8,022

- (注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。